

109 シバサシ由来

昔ね、ある男が、家庭には女房もいるけど、またよそに女作つてあつたわけ。したら、家にいる本妻、女房が、子どもが出来たわけ。子どもが出来たからね。その、死んだ後妻の女が羨ましがって。この後の女が、家で子どもが出来たから、その子どもを取らんがために、ね、羨ましがって、もうあだ討ちみたいさね。男取られて、自分はどうも命もなくなつたし、もう、後で取られた方は、あれ、あんなにして子どもも出来て幸福に暮らすわけさ。だから恨み持っているわけさね。して、幽霊になつて。

子どもが出来て四日目の夜、この女がね、この幽霊が、このお産したところに来るわけ。子どもの命取りにさ。幽霊なつて来るわけさ。して、来たらね、昔は沖繩は、お産した人はね、別に小っちゃく部屋があつたわけ。どこのお家も。部屋があつたわけさ。て、みんなはね、その座敷で三味線弾いて徹夜するわけさ、

みんな。それは昔からお産した人をね、いわば守る意味で、やつぱしみんな友達なんか、隣近所なんか一週間ね、みんなもやるわけさ。

だから、四日の晩にね、この女が来ているのをね、この、お産したからね、何か襖なんか、穴が開いたあれからさ、こうして覗いたらね、あの穴からは見えるそうですね、やつぱし幽霊は。きれいに見えるそうですよ。して、見えたらね、幽霊が立っているからといってね。これから怖がつて、して、みんな大騒ぎになつてね。

してから、子どもでも誰でも、外におしっこしに行く時には、一番唾を通して、唾掛けてからしっこを出しなさいつて教えられたつて話もあるけどね。

したら、ある人がね、この人は何かあれじゃなかったかね、いわば神様みたいな人じゃなかったかね。その人がね、三というのはあれを三本くびつてから作つてね、この幽霊をこれでね、追つたつて。

これからね、もうこの子どもがお産するにはね、みんなも産後ね、たててこれで守つたという話で、八月のね、これはシバサシと言うんですけどね、これは。

旧の八月とかにこれやるんですよ。

字国吉 翁長文子

類話

字東里 上良キヨ、上良徳栄（上里区）